



わが東中

校訓…共に羽ばたく

能代市立能代東中学校
校報第12号
令和3年11月22日
文責：平澤秀樹

全国中学校「防災小説」交流会（オンライン）に参加

まだ起きていない震災について自分の体験談のようにつづる「防災小説」に取り組む中学校が参加する全国中学校防災小説交流会が17日、オンライン形式で開かれました。

今年7月に、「防災小説」の提唱者である慶應義塾大・大木聖子准教授からお話があり、全国5カ所を結んでオンライン交流会実施の運びとなりました。

本校では、2年生で防災小説に取り組み、当日は、柴田恭輔さんが、自分の作品を堂々と朗読しました。また、郷土紹介・学校紹介は、青山哲大さん、中川陽太さん、四津谷咲里さんが務め、発表だけでなく、他校の発表に対して質問や感想を臨機応変に述べることで

できました。

恭輔さんの作品を聞いた他校の生徒からは「過去の経験から油断して避難しない人はいる。とても現実的」「事前に家族で避難場所を決めておいたり、準



備を整えておいたりすることの大切さを改めて感じた」などの感想が寄せられました。

川崎市立霞ヶ関西中の発表は、首都直下型地震を題材に、また、土佐清水市の清水中や愛媛県の愛南町立御荘中では、南海トラフ地震を想定した作品となっていました。

最後の質問コーナーでは、「愛媛県では、オレンジジュースの蛇口が本当にあるのか」「秋田県の家ではみんな秋田犬を飼っているのか」「特徴的な方言を教えてほしい」などの質問が出され、和気藹々とした雰囲気のうちには終えることができました。

今回の発表会の様子は、NHK総合テレビ「明日をまもるナビ」（12月12日（日）午前10時05分〜）で放送される予定です。

今回のホスト校となった御荘中のある愛南町教育委員会からは、全校の皆さんと発表者の皆さんに記念品をいただいております。

全県秋季大会

卓球団体 一回戦惜敗

11月14日（日）能代市総合体育館で卓球男子の秋季総体全県大会が行われました。

団体戦は、勝平中と接戦の末、3対1で惜敗しました。

個人戦では、武田将弥さんが、三回戦まで進みましたが、惜しくも敗退。伊藤昂さん、小林颯太さん、安田拓真さん、堀井惇世さん、庄司峻亮さんは、健闘を見せましたが、一回戦敗退でした。

どの部にも当てはまりませんが、冬場のトレーニングが大切です。モチベーションを保ちながら、春季大会では、一つでも上を目指してほしいと思います。

全県秋季大会 バスケットボール

全県秋季大会バスケットボールは11月27日（土）、28日（日）に秋田市のCNAアリーナで行われます。日頃の練習の成果を十分に発揮することを期待します。

12月の行事予定

- 1日(水) 3年実力テストVI
質問教室(朝), 放課後学習会
- 2日(木) 県学習状況調査(1, 2年生)
- 3日(金) 質問教室(朝)
環境衛生検査
- 4日(土) 数学検定(本校9:00)
- 6日(月) 第3回校内テスト
- 7日(火) 東幼稚園訪問(3年家庭科)
- 8日(水) 生徒会会長選挙告示
放課後学習会
- 9日(木) 集金日
- 10日(金) 集金日
- 13日(月) 学校アンケート(～17日)
- 14日(火) 生徒会会長選挙立会演説会・投票
- 15日(水) 職員会議
- 16日(木) 1・2年学年PTA
スマホ・ケータイ安全教室⑥
- 20日(月) 専門委員会
- 21日(火) 特別支援セミナー
- 22日(水) 放課後学習会
- 23日(木) 生徒会役員任命式、アンコン激励会
- 24日(金) 冬休み前集会
- 25日(土) アンサンブルコンテスト(能代文化)
- 26日(日) 冬季休業日(～1/13)
- 29日(水) ～1/3日(月) 学校閉庁日
- ※1月14日(金) から後期後半がスタート



修学旅行に行ってきました。

開催が危ぶまれた「修学旅行」ですが、11月8日、9日に、無事行ってきました。増田の蔵、まんが美術館、ふるさと村、角館の散策、わらび座での観劇、夜はホテルのフルコース(テーブルマナーレクチャー付き)で楽しみました。

予定していた震災遺構の見学はできませんでしたが、秋田県のよさを再発見できた旅となりました。



(ナイフ&フォークに苦戦)



(曲げわっぱ製作に夢中)



(増田蔵 吉永小百合のまね)



(まんが美術館にて)



(角館にて 紅葉の武家屋敷を人力車で)

修学旅行スナップ

イオンタウンが開店します。～地区の交通量が増えることが予想されます。

登下校の交通安全には特に留意してください。国道だけではなく、農道も一列で! 周囲に気を付けて! 車が児童生徒の列に突っ込む交通事故は、主に歩道のない道路で起きています。

【先人の言葉】「人にしてもらいたいことは、あなた方もそのように人々にせよ。」(マタイ伝7章12節)

イエスの黄金律とよばれる隣人愛の教えである。私たちは、自分がされたら腹が立つこと、落ち込むこと、悩むことを、知らず知らず、平気で他人にしているものである。誰であれ、他者にとって嫌なことをする権限はない。キリスト教を弱者のための奴隷道徳と酷評し「神は死んだ」と言ったニーチェでさえ、イエス自身の愛のエネルギーの大きさをほめ讃えている。「汝の隣人を愛せよ」イエスの教えの核心である。